

4 予算の主な増減

(1) 予算規模

	平成 29 年度	平成 30 年度	増減
内部取引消去なし	832,658 千円	882,432 千円	49,774 千円
内部取引消去あり	807,437 千円	854,513 千円	47,076 千円

(2) 事業区分別（内部取引消去なし）

	平成 29 年度	平成 30 年度	増減
社会福祉事業	653,751 千円	658,702 千円	4,951 千円
公益事業	178,317 千円	223,110 千円	44,793 千円
収益事業	590 千円	620 千円	30 千円

(3) 主な増減（内部取引消去なし）

(1) 社会福祉事業

① 法人運営事業

- ア 法人管理運営事業 ▲ 30,844 千円
 - ▶ 前年度遺贈及び退職給付引当資産取崩収入の減
- イ 企画広報事業 ▲ 1,510 千円
 - ▶ トヨタ財団助成金収入の減と計画策定諸謝金等の支出削減

② 地域福祉推進事業

- ア 地域福祉活動推進事業 8,448 千円
 - ▶ 新規職員、老朽化した福祉掲示板撤去委託費の増
- オ 子育て支援事業 ▲ 2,526 千円
 - ▶ 前年度利用者支援事業開設準備補助金収入の減

③ 共同募金配分金事業

- ア 一般募金配分金事業 ▲ 6,729 千円
 - ▶ 前年度地域活動館開設準備、子育て支援拠点大型玩具、災害時用備品保管庫等の取得支出の減

④ 施設管理運営事業

- ア 介護予防センター受託運営事業 36,998 千円
 - ▶ 介護予防センターほのぼのプラザますおの新規受託金収入の増

⑤ 資金貸付・基金運営事業

- イ 基金運営事業 1,122 千円
 - ▶ こども未来基金を財源とするこどもの居場所づくり等助成による増

(2) 公益事業

① 施設管理運営事業

- ア 社会福祉センター設置経営事業 50,046 千円
 - ▶ 沼南社会福祉センター空調設備改修工事による増

② 在宅福祉サービス

- ア さわやかサービス事業 ▲ 6,335 千円
 - ▶ サービス区分間の繰出廃止による減
- ウ 成年後見事業 1,633 千円
 - ▶ 新規職員、第3期市民後見人養成研修実施による増

平成30年度事業計画・予算 概要

1 基本方針

少子高齢・核家族化、人口減少、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境の変化等により、福祉ニーズが複雑多様化してきています。

国は、「ニッポン一億総活躍プラン」（平成28年6月2日閣議決定）において、子供・高齢者・障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現を提唱しました。また、有識者による地域力強化検討会を設置し、平成29年9月12日の最終とりまとめにおいて、地域共生の文化への定着、他職種連携や地域連携、「点」から「面」への取り組み、「予防」の視点に基づく早期発見・支援、多様な参加の場・働く場の創造等、今後の方向性を明らかにしました。

本会では、すでに介護保険法に基づく生活支援体制整備事業により、地域を柱に据えた支えあいの基盤づくりを市内全域で進めており、さらにこれらを全世代型の仕組みへと広げる取り組みを始めているところです。

平成30年度は、国が示す方向性を踏まえ、第4期柏市地域健康福祉活動計画（平成31年度からの計画）を策定します。また、柏市が進めている東京大学（I O G）、UR都市再生機構との研究事業や東京大学との共同研究事業である地域活動館の取り組みを通じて、実践とノウハウを蓄積し、持続可能な地域づくりを目指します。さらに、介護予防センターほのぼのプラザますおを含む介護予防事業の受託に伴い、健康増進室を新設し、介護予防事業の一体的な推進を図るなど、新たな事業への着手と既存事業の見直し等を行いながら、第3期計画（推進最終年度）に基づき、下記の基本方針のもと、各種事業と重点的な取り組みを実施します。

- (1) 「社会的孤立防止」が全ての福祉に係る共通課題であることを念頭に、各種事業を展開します。
- (2) 2025年（平成37年）の地域社会を見据えた相談支援・ボランティア活動・地域づくりを推進します。
- (3) 組織が持つ機能を効率的に最大限発揮できるよう情報・知識・技術の共有を徹底します。

2 重点的な取り組み

(1) 新たな取り組み

① 第4期柏市地域健康福祉活動計画の策定 [3,000千円]

国が示す「地域共生社会の実現」と柏市が策定する第4期福祉計画の方向性を踏まえ、平成31年度からの第4期活動計画を策定します。また、地区別計画の策定や市社協発展・強化計画の見直しを行います。

② 介護予防事業の一体的な取り組みと地域展開

[48,112千円]

介護予防センターほのぼのプラザますおの受託による介護予防事業の受託拡大に伴い、健康増進室を新設し、老人福祉センターでの介護予防とも連携した介護予防事業の一体的な取り組みと地域展開を図ります。

③ 契約職員等の雇用環境の改善と人材の確保

国の働き方改革や優秀な人材の長期雇用を実現するために、契約職員の無期雇用化への早期対応や月給制への移行等、契約職員の雇用環境の改善を図り、専門性を有する職員の長期雇用による人材確保を図ります。

④ 東大連携事業への連携・協力

柏市・東大（IOG）・URによる研究事業について、以下の取り組みに積極的に関わっていきます。

- 新規 I 地域活動館（仮称）における学びの場づくり
- 継続 II JST統合実装プロジェクト
（豊四季台・布施新町）
- III フレイル予防
- IV 生涯現役促進地域連携事業
- V その他関連事業

(2) 充実・強化

① 子育て支援事業の充実・強化 [40,300千円]

沼南社会福祉センター2階にファミリー・サポート・センターを移転させ、子育て支援機能を集約することで、地域子育て支援拠点事業や利用者支援事業との連携を強化し、子育て支援事業全体の充実を図ります。

② 成年後見制度利用促進と市民後見人の養成と推進

[26,024千円]

成年後見制度利用促進基本計画や市の方向性を踏まえ、成年後見制度の利用促進を図るとともに、第3期市民後見人養成研修の実施や本会成年後見監督人による単独型の市民後見人の推進と支援を図ります。

③ 総合相談機能と個別・世帯支援の強化

地域共生社会における地域課題解決力の強化と包括的な相談支援体制づくりの方向性を踏まえ、柏こども未来基金やセーフティーネット基金の活用による生活困窮者や貧困の継承への対応、総合相談や生活支援体制整備事業における制度の狭間にある生活課題への支援等、個別・世帯支援の強化を図ります。

④ 沼南社会福祉センターの空調設備の改修 [53,646千円]

地域やボランティア活動の拠点、地域子育て支援拠点、地域包括支援センター等の複合機能を持つ沼南社会福祉センターの空調設備を改修します。

(3) 研究・検討事項

① 新たな地域いきいきセンターの設置準備

市内6ヶ所目となる地域いきいきセンターの平成31年度設置・開設に向け、近隣センターや地域組織の理解と協力のもと、準備を進めます。

② 教育福祉会館の耐震改修に伴う対応

平成31年度からの教育福祉会館の耐震改修に伴うボランティアセンターの一時移転や改修後の取り組み等について、市と協議を行います。

③ 共同募金の今後のあり方の検討

中央共同募金会70周年答申にある「共同募金における運動性の再生」を目指し、共同募金委員会の設置や募金機能の強化、有益な地域活動への配分等、共同募金における財源確保と機能について検討します。

④ 被災時の対応や被災地支援の検討

近年の大規模災害や関東での大規模災害の発生に備え、これまでの経験と各種マニュアル等を踏まえ、常設型の災害ボランティアセンターの設置等も含めた、危機管理体制の強化を検討します。

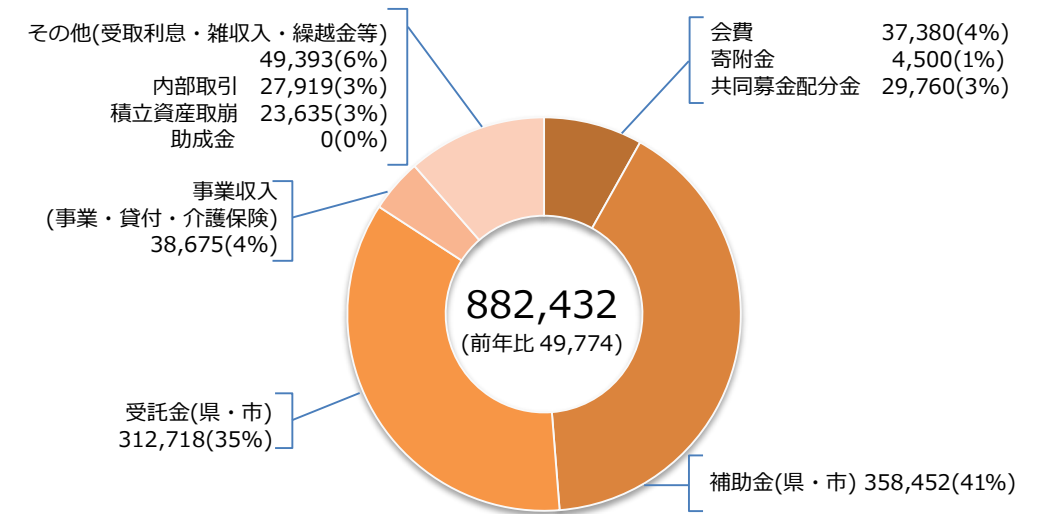
⑤ 地域包括支援センターのあり方の検討

平成31年度の地域包括支援センターの再編を見据え、本会における地域包括支援センターの今後のあり方について検討します。

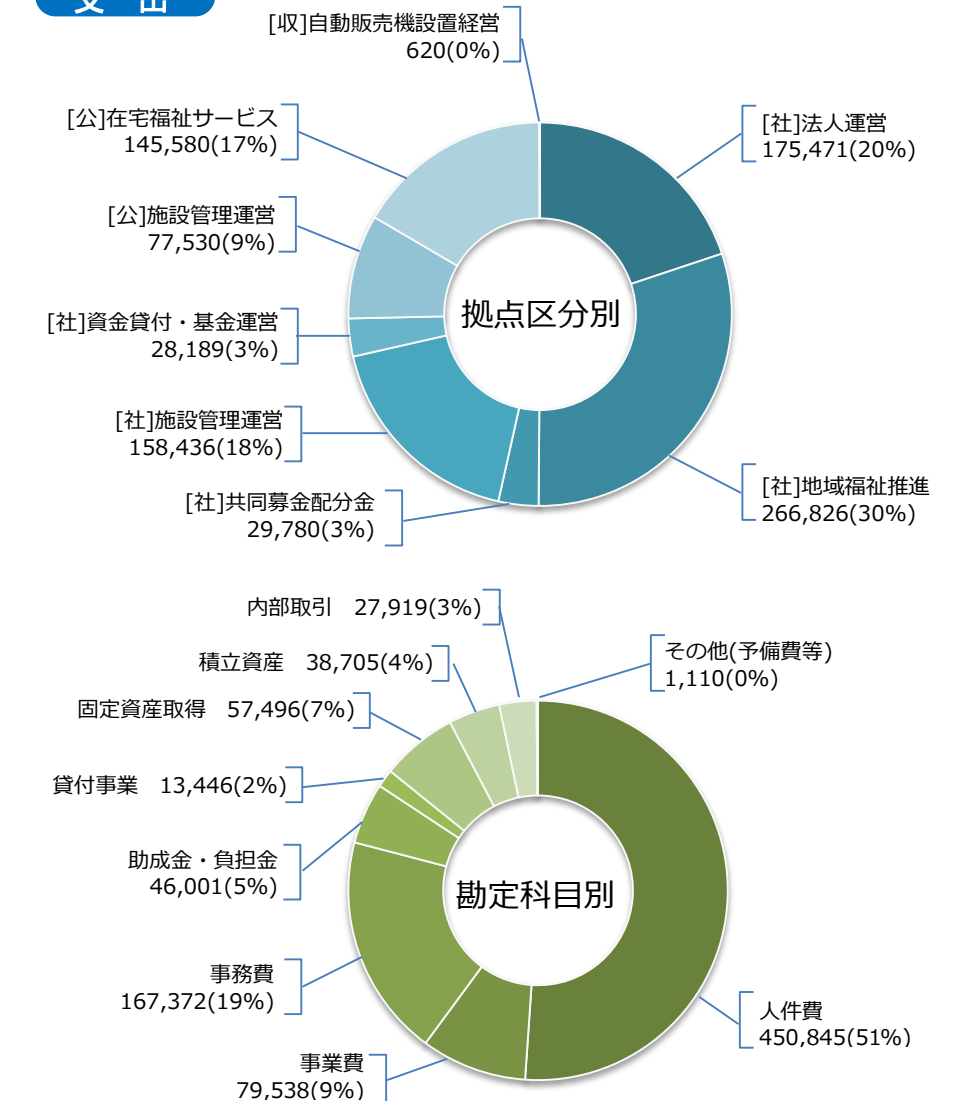
3 予算の概要

単位：千円（内部取引消去なし）
[内部取引消去あり総額 854,513千円]

収入



支出



[主な基金] 毎年度基金を積立て福祉課題の解決に活用します。[積立額/単位：円]
 ① 災害対策基金 被災地支援や災害ボラセン設置 [約 21,610,000円]
 ② セーフティーネット基金 制度の狭間にある生活困窮者支援 [約 24,705,000円]
 ③ 柏こども未来基金 こどもの居場所・経済的支援 [約 15,711,000円]

※ 基金の積立額は、平成30年3月末の予定額です